

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
公衆衛生学Ⅱ	1年次	必修	講義	1単位（30時間）	大西 秀典 ※
授 業 概 要					
<ul style="list-style-type: none"> <li>地球環境、健康の保持、予防医学の重要性を認識し、公衆衛生分野の検査などについて学習する。</li> </ul>					
到 達 目 標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>衛生学・公衆衛生学の変貌と地球環境・人口の変貌を理解し、公害問題から自然・生活環境問題へと変化している中で、「健康とは何か、いかに対処すべきか」を解決する知識を理解し、説明できる。</li> <li>時代の流れを汲み取って、その時の社会の問題点を正しく理解し、説明できる。</li> </ul>					
回	学 習 内 容				担当教員
1	環境保健(1) 人間と地球環境				大西 秀典 ※
2	環境保健(2) 地球生態系				
3	環境保健(3) 物理的環境要因				
4	環境保健(4) 化学的環境要因				
5	環境保健(5) 生物学的環境要因				
6	環境保健(6) 室内環境・水の衛生				
7	環境保健(7) 大気と環境問題				
8	環境保健(8) 食品衛生、食中毒				
9	母子保健(1) 母子保健の水準				
10	母子保健(2) 母子保健活動				
11	学校保健(1) 学校保健				
12	産業保健(1) 労働災害・事故				
13	産業保健(2) 産業衛生・職業病				
14	産業保健(3) 職場における健康診断				
15	老人保健(1) 老化の特徴・保健対策				
学 習 方 法					
<ul style="list-style-type: none"> <li>公衆衛生学は幅広い領域に亘っての学習のため、学んだことを関連付け、しっかりと復習して理解すること。</li> <li>不明な点は必ずその場で解決すること。</li> </ul>					
評 価 方 法					
<ul style="list-style-type: none"> <li>講義開始時又は終了時に小テストを実施する。</li> <li>遅刻や欠席等で小テストを受験しなかった場合は0点とするが、正当な理由がある場合は追試験を実施する。</li> <li>定期試験（60％）及び小テスト（40％）により評価する。</li> <li>再試験では小テストの再評価はしない。</li> </ul>					
先 修 科 目					
教科書、参考書					
[教科書] シンプル衛生公衆衛生学 2018版 鈴木 庄亮 他 南江堂 [参考書] 公衆衛生学マニュアル 2018年版 柳川 洋 他 南山堂 公衆衛生がみえる 2018-2019 今村 知明 他 MEDIC MEDIA 国民衛生の動向 2018-2019 (財)厚生統計協会 <9月販売>					